

住み慣れた地域で、自分らしい生活を、送るために

台東区

在宅療養支援窓口通信

令和6年8月号

No. 13

在宅療養にお困りの方・訪問診療を考えている方のお手伝いをします

○在宅療養支援窓口の相談事例紹介

<相談内容>



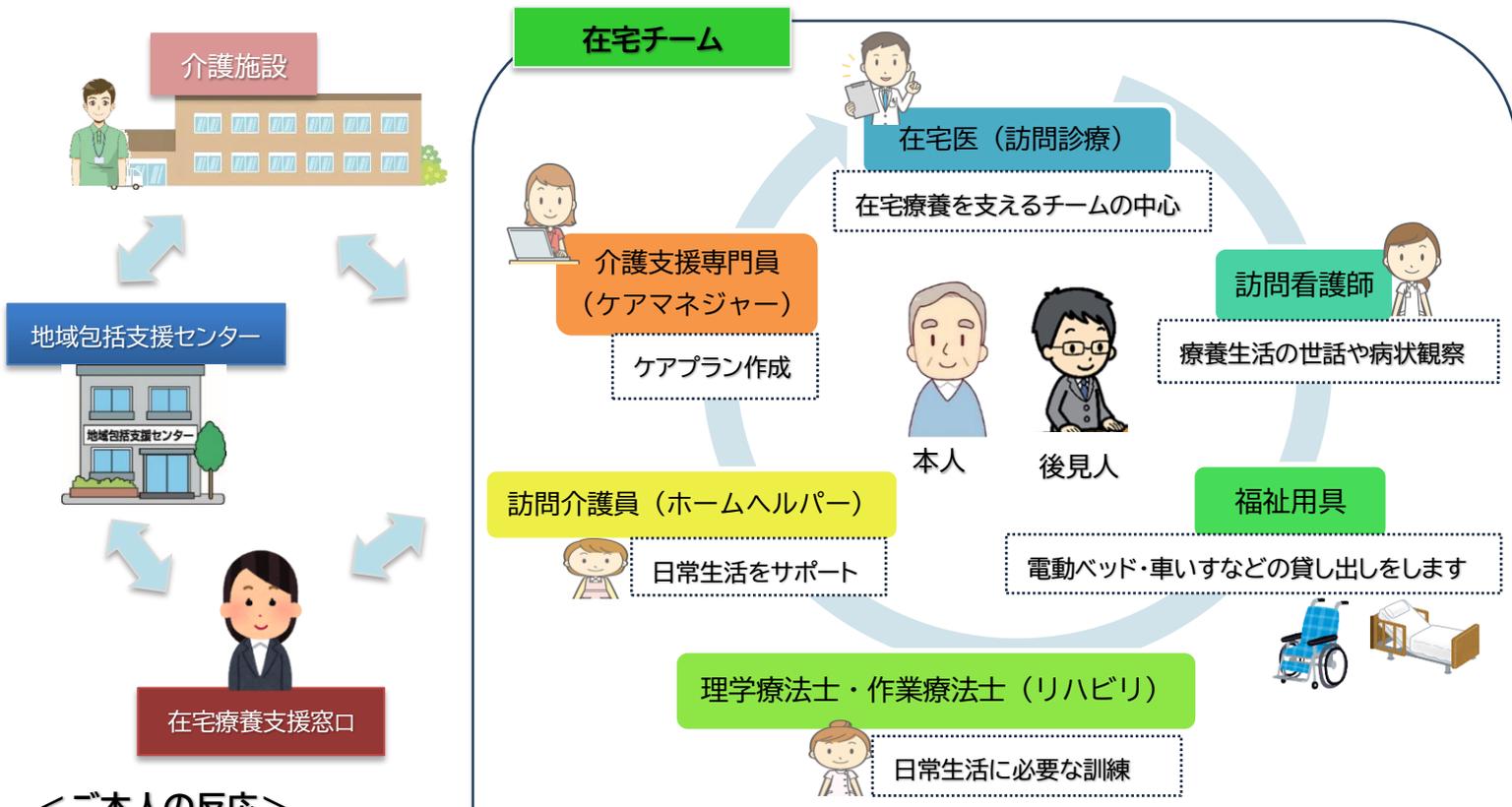
介護施設のケアマネジャー

昨年の夏に熱中症を数回繰り返したため、現在施設に入所している方について相談したい。数か月前より、家に帰りたく口にするようになり、日々思いが強くなっている様子。1人暮らしで、家に冷房がないが、暑くなる前に帰らせてあげた方がいいのか、夏を過ぎてからの方が良いのか迷っている。

<支援内容>

ご本人の気持ちから、夏を過ぎるまで施設にいることは無理そうでした。そのため、暑くなる前に自宅に帰ることを目標にしました。高齢者の総合相談を行う、地域包括支援センターに相談し、在宅チームを整え、本人・後見人を交えたカンファレンスや自宅訪問を数回行い、サービスを検討しました。

ご本人は、長い間施設にいたため、筋力が弱っていました。自分で全て行おうと思っていたようですが、徐々に介護サービスを受け入れてくれました。ご自宅は3階建てのため、階段に手すりを設置し、冷房も設置しました。



<ご本人の反応>

久しぶりに帰る家ですが、本当に家に帰っていいのか、不安もあります。熱中症にならないように冷房はつけます。こんなに皆さんに助けて頂けると思っていなかったなので、ありがとうございます。

ご本人の「家に帰りたく」という強い思いを、多職種で連携し、サポートしたケースの紹介です。

台東区在宅療養支援窓口 電話:03-5603-0235

